

＜前期考査に向けて＞

前期考査は6月19日・20日、および6月21日・23日の4日間行われます。本校では、その2週間前に考査範囲と時間割が発表されます。計画的に学習をすすめましょう。

1年生の皆さんは、高校生活初めての定期考査です。中学校と比べて科目数が多くなり、テスト範囲も、かなり広がります。いわゆる一夜漬けでは、まったく対応することができません。苦手意識のある科目ほど早めに取り組み、分からない事は質問しましょう。

2年生の皆さんは、将来の職業を見据えて、志望の学部学科を基にした理系・文系のコースに分かれました。1年生の時以上に内容の深い科目を学んでいますから、詳細な知識や解法を習得することに心掛けましょう。

3年生の皆さんは、1、2年生が中期考査の時期に学年末考査となり、3年生のみ2回の定期考査です。当然、前期考査の比重が高くなります。これまで以上に真摯に取り組む必要があります。計画的に学習し、すべての教科・科目に全力を尽くしましょう。

なお、学業成績は、定期考査・課題考査・小テスト・提出物・実験・実習・実技などを基に総合的に評価されます。

また、定期考査の問題と問題集の問題とすべてまったく同じであることは、あり得ません。正確な知識と解法の習得ができる勉強方法で取り組んで下さい。大学入試を目標とした学習を行っていることを忘れないようにしましょう。

定期考査に向けて

教室掲示のプリントで、考査日程および考査範囲を確認してください。学年はもちろんのこと、同じ学年でも理系文系により、考査範囲が異なる場合があります。

考査の前日までに、机の中を空（カラ）にするなどの準備をしてください。

自習室について 地歴公民教室（南舎2階）※補習実施日は補習終了後使用可

①放課後の自習室について

本校では、放課後開放している自習室があります。各学年の当番の先生が施錠するまで利用することができます。

不明な点は進路指導室の先生に聞いてください。

②3年生の土曜活用の自習室について

3年生は、土曜活用（土曜日の補習）の際にも、南舎学習室を自習室として開放する予定です。不明な点は、進路指導室の先生に聞いてください。なお、土曜活用の時に、職員室の廊下などで自習することはできません。

< 模試を受ける意義とは？ >

6月3日（火）に、3年生生徒対象に進路講演会を行われました。また、6月5日には、2年生の皆さんを対象に、進路講演会を実施しました。共通して話題となったのは「模擬試験」との向き合い方でした。1年生も今月末に、初めて校外模試を受けますので、今回は模試を受ける意義について考えてみたいと思います。以下のスライドは、講演で出されたものです。模試は、現在の自分の位置を知る絶好のチャンスです。結果はともかく、今後の学習の指針になりますので、積極的に活用してください！

模試を受けるのは何のため？



「**現在地**（今の実力）」を知り



「**進む方向**（何からやるか）」を定めるため

- ①目標を立てて臨む 何点？苦手教科はどの分野を克服したい？
- ②すぐ復習する 自己採点＆分析→学習計画へ反映
- ③帳票が返ってきたら 偏差値・判定チェック＆苦手分野の自己分析
- ④次に向けての目標とアクションを考える
- ⑤節目で前に受けた模試を解き直してみる→克服できたか

©Benesse Corporation.

成績アップしている人の特徴



成績アップした人の勉強方法

☐ **毎日机に向かい学習している**

☐ テストは必ず**復習する**

☐ **優先順位**をつけて学習する



< 学びたいことを探してみよう >

意欲的に学び続けるためには、目標や夢をもつことが必要です。面談等で皆さんの話を聞いていると、勉強する理由で、「行きたい大学がある」「やりたい仕事がある」「こんな大人になりたい」が明確に語ることができる生徒が少ないように感じます。

時間を見つけて、今一度自分自身を見直してみてください。例えば、↓のようなサイトがあります。参考にしてください。

志望校合格に向けて

みらいぶっく

検索



自分を見つめなおす方法は、進路情報以外からでも得られます。テレビ・映画・本（漫画含む）など、自分が好んで見ているものがヒントになる場合もあります。